## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	慶應義塾経済学会会則
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1977
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.70, No.3 (1977. 6) ,p.406(152)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19770601-0152

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 慶應義塾経済学会会則

第1条 本会は慶應義塾経済学会(The Keio Economic Society) と称する。

第2条 本会は経済学の研究およびその奨励, ならび に会員相互の親陸を図ることを目的とする。

第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を 行なう。

1 研究会の開催

2 機関誌「三田学会雑誌」およびその他研 究成果の刊行

3 講演会,資料展覧会の開催

4 他の学会および諸団体との連絡

5 その他本会の目的を達成するため適当と 認める事業

第4条 本会は慶應義塾大学経済学部所属専任者のう ち経済学を専攻する者をもって組織する。た だし特別会員をおくことができる。

第5条 本会に次の役員を置く。

1 会長 1名 2 委員長 1名

3 副委員長 2名 4 委員 若干名

5 監事 2名

第6条 会長は慶應義塾大学経済学部長とする。委員 長,副委員長.委員及び監事は、総会におい て決定する。

第7条 会長は本会を代表する。委員は委員会を組織 し会務を執行する。委員長は委員会を代表し 会務を統轄する。副委員長は委員長を補佐す る。監事は会計を監査する。

第8条 委員長、副委員長、委員および監事の任期は 2年とする。ただし、再選を妨げない。

第9条 会長は年一回総会を招集する。ただし必要に 応じ臨時総会を招集することもできる。

第10条 会員は機関誌「三田学会雑誌」およびその他 本会刊行物の配布を受けることができる。

第11条 本会の経費は賛助金、補助金、会費およびそ の他の収入をもってこれに充てる。

第12条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月 31日迄とする。

第13条 本会会則の変更は総会の決議による。

第14条 本会の事務所は慶應義塾経済学部研究室内に 置く。 経済学会委員(昭和52.4改選)

会 長 大熊一郎

委員長 島崎隆夫

副委員長 飯田 鼎 平野約子

委 負 白井 厚 飯田裕康 飯野靖四 長名寬明

飯野靖四 長名寬明 島田晴雄 浜田文雅 佐々波楊子 宇佐美泰生

監 事 中鉢正美 安川正彬

## 経済学会報告(昭和51年度)

昭和51年

6月17日 現金通貨供給と信用拡張 浜 田 文 雅

9月30日 トマス・ジェファースンと

アダム・スミス 白井

10月21日 資源配分過程のメッセージ空間の

情報量について 長名寛明

10月28日 <小泉基金による特別講演会> 最近の中近東の経済情勢について

ガージ・A・サーハン (アメリカン大学教授)

11月25日 労働貴族の古典的時代におけるフリン

ト・ガラス製造工:1850~80年——

イングランド・スタウアブリッジを

中心として--- 松村高夫

12月2日 <第一回 スミス国富論200年記念講演会> アダム・スミスと現代経済理論

福岡正夫

川又邦雄

アダム・スミスと貨幣・金融

村 井 俊 雄

12月9日 <第二回 スミス国富論200年記念講演会> スミスにおける富裕の進歩について

中村勝己

アメリカ独立とスミス 白 井

12月16日 <第三回 スミス国富論200年記念講演会> アダム・スミスの賃金論 黒 川 俊 雄

スミスの自由貿易論と日本の国際

分業論農政

常盤政治

昭和52年

1月13日 <第四回 スミス国富論200年記念講演会> アダム・スミスの財政論 大 島 通 義

スミス分業論と労働疎外論

野地洋行

1月20日 最近における欧米の労使関係の動向と

研究状況について

島田晴雄